

鎌倉市議会
議員

2期8年

あなたの願い
市政へ届けます

たけのひろこ

武野

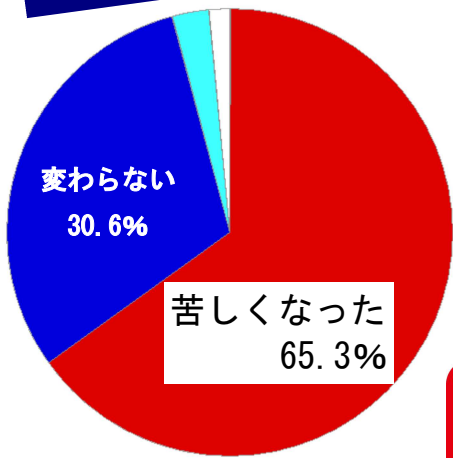
裕子

1959（昭和34）年生まれ。植木在住。大船小、大船中、横須賀学院高校。ソニー中央研究所。職業訓練校をへてプログラマーに。「しんぶん赤旗」編集局勤務23年。2017年初当選（2期）。現在市民環境常任委員会委員長。趣味は、絵本の読み聞かせ、スキューバダイビング、芝居（役者として）、ジャズ鑑賞、旅行。家族は夫、長男、長女、ネコ。

物価高騰

市民生活を直撃

日本共産党の「2025年市民アンケート」に1,600通以上の回答があり、65%の方が暮らしが「苦しくなった」と。その原因では42%が「物価上昇」をあげています。地方自治体の役割は、市民の暮らしと福祉の向上にあります。暮らしを守る取り組みがより一層求められています。



こんな時に
市民の税金が…

市役所移転170億円
現在地新施設140億円
村岡新駅に44億円



取り返しのつかない無謀な税金投入はやめましょう。日本共産党は、市役所移転の見直し、村岡新駅整備の中止を要求しています。

憲法をくらしに生かします

コロナ禍、そして物価高騰、市民の暮らしに深刻な影響を与えています。一方、自民党の裏金問題、政治家の不祥事が続き、政治に対する信頼は大きく損なわれています。

幼い頃に父親が経営する会社が倒産、それでも貧しくとも明るい家族に支えられ成長し、鎌倉で2人の子どもを育て、そして市議員として8年間、**生活相談、歩道の改善、高齢者の外出支援、子どもの医療費の無料化**など、行政と交渉もして全力で取り組んできました。

日本共産党へ入党したきっかけは、職場で特定の人への差別でした。差別のない自由で平等の社会を願い、日々活動しています。

新しい市議会では、**学校給食の無償化、国保や介護の負担軽減、教育や子育て支援**にも力を入れていきます。また、**市役所移転をストップ**させ、議会の役割である行政の無駄を許さない取り組みを進めます。

これからも、みなさんの願いを市政へ届けるため全力をつくしてまいります。



ビラを配布する武野裕子議員



たけのひろこの活動を紹介しています。

